

令和7年度第5回臨時理事会議事録

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和7年10月15日（水曜日）
14時00分から15時10分まで
- 2 場 所 事務局共用会議室
- 3 理事現在数 7名
- 4 定 足 数 4名（理事の過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 8名（理事以外を含む）
理 事 6名
（理事長）塩見清仁
（常務理事）小室明子
（理事）延與桂（Web出席）、上代圭子（Web出席）、
中川冷子、平野裕一
監 事 2名
飯塚幸子、中山正雄
- 6 議 題
 - （1）審議事項
第1号議案 評議員の辞任に伴う評議員候補者の推薦について
 - （2）報告事項
契約変更について
大会の準備状況について
- 7 議事に至るまでの経過
出席予定者が全員揃ったため、理事会を開会した。議事に入るまで、河野事務局長が進行役を務めた。冒頭、当理事会は東京都スポーツ文化事業団理事会会議規程第7条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告し、定款第32条

に基づき理事長が議長を務める旨を説明した。

これを受け、塩見理事長が議長として、開会を宣言した。定款第34条により、議事録署名人は出席した理事長及び監事が務めることを確認し、議事を開始した。

なお、本理事会は Web 会議システムを併用して開催しており、Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時適確な意見交換が互いに出来る状態となっていることを開会前に確認している。

8 議事の経過及び結果

第1号議案 評議員の辞任に伴う評議員候補者の推薦について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して説明するよう指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 決議

第1号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

9 報告事項

(1) 契約変更について

本件について、板倉シニアマネージャーより報告した。

(2) 大会の準備状況について

本件について、小林シニアマネージャー、鶴川シニアマネージャー、板倉シニアマネージャー、小澤シニアシニアマネージャー、北島本部長補佐、塩田シニアマネージャーより報告した。

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問・意見) 延興理事

4点質問させていただく。1点目は、大会関連グッズの入手方法について。2点目は、選手が他の競技の応援に行く際の輸送方法について。3点目は、観戦や視察にお勧めの試合について。4点目は、質問というよりもお願いだが、大会公式マスコットのゆりーとをもっと推してほしい。

(回答) 板倉シニアマネージャー

まず1点目の回答だが、協賛社のヨコブリシがグッズを販売する。全会場で

はなく、大体 10 会場程だがブースを構え、T シャツ等を販売する予定である。

(回答) 鶴川シニアマネージャー

2 点目の輸送についてだが、選手団の方が応援のため、他会場に行きたい場合、ID カードを持つ選手であれば輸送バスに乗れる仕切りになっている。

なお、選手の意向により、公共交通機関を利用することも可能である。

(回答) 北島本部長補佐

3 点目は、我々としては公平性から全競技お勧めという言い方しかできない。

4 点目だが、現場では、ゆりーとが沢山用いられている。

(質問) 上代理事

増額の件だが、増額するのであれば、入札時にそれに見合った内容を提示することができたという他社からの不満に繋がらないか。

(回答) 板倉シニアマネージャー

本件の契約変更については、開会式の内容等を変更するというわけではなく、元々用意しようとしていた資機材を増やすというものである。従って、特段新たな業者の裁量の余地というのは無いと考えている。

(質問) 平野理事

幾つか教えていただきたい。大会の直前や大会中にトレーニングがしたい、リカバリーをする場所が欲しいといった声に対応する場所の提供はあるか。

(回答) 北島本部長補佐

まず、トレーニングに関しては、全ての参加選手に平等に練習が出来る状況として公式練習を設けている。

また、二つほど体育館をコンディショニング用の専用のエリアとして開放する予定である。ただし、リカバリーは基本的には各国選手団が自ら用意するもの。相談があれば可能なかぎりの対応はする。

(質問) 平野理事

日本の有望デフアスリートの宣伝は行うか。

(回答) 北島本部長補佐

我々事業団はあくまでも運営組織として、各国平等な扱いをしなければならない。

日本の選手だけを特筆して紹介するという事は出来ない立ち位置。

(回答) 板倉シニアマネージャー

東京都の方では、東京にゆかりのあるデフアスリートを紹介するサイトを立ち上げており、数十人のアスリートを紹介している。

(質問) 飯塚監事

本日選手の登録締め切り日だが、中止競技が出る可能性はあるか。

(回答) 小林シニアマネージャー

これまでも予備登録などステップを踏んできたので、大きく中止種目が出ることはないとみている。

(質問) 中山監事

日本選手が出場していることが分かり、応援できるような仕組みがあればより盛り上がると思うがそのような考えがあれば教えてほしい。

(回答) 北島本部長補佐

事業団としては公平な運営を貫く立場だが、実際には日本選手団の試合に合わせた応援（サインエール）を東京都が中心となり試験的に行う動きがある。

団体競技ではドローが決まっており、日本チームの試合日程も把握できるため、応援の準備を行っている。一方、個人競技は競技初日前に開催される技術会議のドロー後でないと出場タイミングが分からず、事前対応は難しいのが現状である。

(質問) 上代理事

例えばメダルセッションの事前告知は可能か。

(回答) 北島本部長補佐

既にホームページにメダルセッションの情報は公開しており、可能である。

(意見) 小室常務理事

本日頂いたご指摘等を東京都、ろうあ連盟にも共有し、出来るだけ東京の皆様、日本の皆様に応援でご参加いただけるよう考えたい。

10 その他

議長より意見を求めたところ、特段の発言は無かった。

以上をもって理事会の議事を全て終了したため、議長が終了を宣言し、散会した。